

「アジアにおける温室効果ガスインベントリ整備に関するワークショップ」
第6回会合（WGIA6）の開催について
(非公開)

◆ 日時 7月16日（水）～18日（金）

◆ 場所 国立環境研究所（茨城県つくば市）

◆ 開催目的

これまでのWGIAの成果を踏まえ、また、気候変動枠組条約における2013年以降の枠組みに関する議論や最近の主要経済国会合等において、温室効果ガスの測定・報告・検証の重要性が再認識されていることも踏まえ、本ワークショップでは、特に以下の点を中心として情報・意見交換を行うことを目的としています。なお、第6回目となる今年は、本年5月のG8環境大臣会合の議長総括で発表された「神戸イニシアティブ」の一環として開催いたします。

- 不確実性評価及び主要カテゴリー分析
- 時系列データ整備・将来予測
- 森林や廃棄物部門におけるデータ収集
- 温室効果ガスインベントリ及び温室効果ガス排出削減・吸収拡大活動に関する意識向上
- バリ行動計画など国際動向を踏まえたアジア諸国の今後のインベントリ関連作業の促進に関する、日米欧とアジア諸国の協力のあり方

◆ 参加者（予定）

〈日本〉 環境省、国立環境研究所、地球環境戦略研究機関、等

〈アジア地域〉 カンボジア、中国、インド、インドネシア、韓国、ラオス、マレーシア、モンゴル、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの各国のインベントリ関連の政府職員及び研究者

〈国際機関〉 国連気候変動枠組条約事務局(UNFCCC)、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)、等

◆ 備考

WGIAは非公開で開催します。成果については、WGIAアジアインベントリワークショップにて公開します。